

令和4年度 旭川歯科学院専門学校
学校自己評価結果報告書（集計）

令和4年7月12日

1. 学校の教育目標

<p><教育目標>豊かな人間性を有した歯科衛生士としての優れた技を磨き、良き社会人を目指す。 <基本方針> *具体的な方策</p> <p>1 全ての学習活動において、謙虚さを育み、気節を鼓舞し、創造に挑戦する意欲づけを図る。 2 口腔衛生の普及と進展を図り、地域社会と連携し社会貢献に努める</p>

2. 本年度の重点課題（目標及び計画）

<p>1 教育 合格率100%（国家資格） 就職率100% 2 地域社会との密接な連携を保ち口腔衛生の普及に尽力し、積極的に社会貢献に努める</p>
--

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 建学の趣旨と教育の方針（教育理念・目標）

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1					←昨年	←一昨年
・学校の建学の趣旨と教育の方針は生かされているか。	4	3.3	3	2	1	3.4	3.4
・将来的展望を踏まえて学校の将来構想が描かれているか。	4	3.1	3	2	1	2.8	3.0
・学校の建学の趣旨・教育の方針・将来構想は学生・保護者等に周知されているか。	4	3.0		2	1	2.8	3.1

① 課題

- ・少子化・社会的変化に伴い学生数確保ができないときにどうするか、社会的ニーズを常に考え、それに対する教育内容の検討
- ・今後、見込まれる社会のニーズへの対応
- ・以前に基本方針の1を理解させることができるのか疑問が出されたが、内容を踏まえて職員、運営委員とで議論が必要

② 今後の改善方策

- ・DH という職業が認知されつつあるが、今後さらなる啓発、会全体で活動していく
- ・地域の社会情勢を把握し長期的な見通しを明確にする
- ・入学式 or オリの時に説明するのがいいか。

③ 特記事項

- ・遠い将来については難しいが、在学期間内についてはある程度知っていると思う
- ・学生数確保が困難な場合の対応について、今後体制、定員数の検討が必要になる可能性。
- ・優秀な学生を入学させる工夫

(2) 学校経営方針（学校運営）

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1					←昨年	←一昨年
・教育理念・目標に沿った学校経営方針が策定されているか。	4	3.2	3	2	1	3.1	2.8
・学校経営方針に基づき、組織は有機的に機能しているか。	4	3.1	3	2	1	2.6	3.4
・人事、給与に関する規定等は整備されているか。	4	3.2	3	2	1	2.8	3.1
・地域社会等に対するコンプライアンス体制は整備されているか。	4	3.2	3	2	1	2.9	3.4
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4	3.3	3	2	1	3.2	3.4

① 課題

- ・人的確保、個々の質の向上をはかり、組織を有機的に機能させるためにどうするか
- ・長期的な視点に立った、有機的な学校運営方針の確立
- ・臨床実習において実習先変更を願い出る学生が散見される。背景にはごく一部ではあるがパワーハラスメントと思われる事例もある。これは指導者側のコンプライアンス違反である。学生個々の資質も考慮すべきであるが、それとコンプライアンス違反は別の問題である。

② 今後の改善方策

- ・学内での意思統一、会全体での連携
- ・学校職員、運営委員、本会会員の情報共有及び連携強化
- ・管理職、教員、事務職員の連携強化。全員で問題点を共有し、解決する姿勢をしっかりと持つ
- ・現状ではコロナ禍の工夫
- ・臨床実習の行い方の再考、学生に対する責任は全て学校側にあるので、実習におけるルールは全て学校側で決め、実習受け入れ先は、そのルールに従ってもらおう。この際、どの実習先も損失無く受け入れられる実習、教育方向の構築、ルール作りが必要である。
- ・人事、給与規定そのものを見直さないと、衛生士以上に忙しい教員の成り手がなくなる、教員に対する待遇向上が必要となる。

③ 特記事項

- ・HP改修に伴い、より良い情報公開が期待できると思います

(3) 教育活動（各学年指導計画）

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				←昨年	←一昨年		
・教育理念・目標に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4	3.1	3	2	1	2.9	3.4	
・カリキュラム（実習等を含む）は体系的に編成され学習時間の確保が行われているか。	4	3.2	3	2	1	3.1	3.8	
・成績評価・単位認定・進級・卒業の基準は明確化されているか。	4	3.3	3	2	1	3.0	3.1	
・教育の方針（人材育成）達成に向けた授業担当教員を確保しているか。	4		3	2.7	2	1	2.4	2.1
・教員の先端知識・技能等の習得及び指導力育成などの資質向上のための取り組みは行われているか	4		3	2.6	2	1	2.3	2.3

① 課題

- ・変化する考え方への対応、新しい技術をいかに導入するか
- ・カリキュラムが古い
- ・明らかに能力不足の学生をどうするか
- ・人材確保とカリキュラム再構築
- ・国試対策のための勉強時間の確保
- ・教員の講習会参加などがあまりできていないと伺いました
- ・常にカリキュラムの見直しを含めて議論することも必要かも
- ・国家試験合格率向上に向けたカリキュラムの再検討。
- ・教員の研修の機会が少ない（日々の業務に追われているため）
- ・17:00以降も連日、業務に追われている教員がほとんどである
- ・現状を把握したうえでカリキュラム改善、教務規定の見直しが必要だ

② 今後の改善方策

- ・経験の浅い教員の教育体制を整え、質の向上をはかる
- ・校外研修、学会への参加、校内研修の充実（2年間、コロナ禍の制限があった）
- ・カリキュラムの見直しと再編成
- ・留年の基準の明確化
- ・教員育成、カリキュラム再構築の具体化

- ・登院試験を1～2か月前倒しする
- ・衛生士さん向けのオンライン講習会などもかなりあります。積極的に活用していったらいいと思います。
- ・国家試験科目と非国家試験科目の授業時間比率の検討。学内実習（2年次）と臨床実習の連携と効率化（評価の見直しも含めて）
- ・将来を見越した余裕のある人員体制が必要、コロナ関連で職員の欠勤もあるため
- ・教員の質を向上させることが学生の質向上につながる、研修可能な人員配置、待遇面も考慮する必要がある

(4) 学修成果

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				←昨年	←一昨年
・就職率の向上が図られているか。	4	3.6	3	2	1	3.6 3.9
・国家試験合格率の向上が図られているか。	4	3.5	3	2	1	3.0 2.3
・退学率の低減が図られているか。	4		3	2.8	2	1 2.8 2.3
・卒業後の生徒のフォローアップがなされているか。	4		3	2.7	2	1 2.6 2.4

① 課題

- ・模試等を細かく分析、1年次から成績下位の学生への介入
- ・卒後教育は必要だと思う
- ・国試合格率の維持
- ・年に1～2人のドロップアウトがいる
- ・卒後研修が可能な学校体制

② 今後の改善方策

- ・生活指導の強化
- ・元担任を中心に、相談があれば対応を迅速にする
- ・学生の能力に応じた対応が必要
- ・定期的なセミナー開催
- ・定期的な個人面接
- ・退学率に関しては、いざ入学してみると自分のしたいこととは違ったというのはあると思うので、ある程度仕方のないことと考えます。
- ・入学してもなかなか出席できない子などに関しては、オンラインでの授業も可能にしたりすることで、少しずつ授業に参加できるよう促すことができたらと思います。
- ・卒業生に関しては、DH向けのオンラインセミナーも沢山あります。そういった情報をHPに張り付けるなどして活用してもらいたいと思います。
- ・就職等は十分に対応しています。近年の学生の学力低下が著しく、踏まえた対応が必要になる。
- ・学生の学習意欲を高めるようなカリキュラム、講義体制の組み立て

③ 特記事項

- ・今年度は現役生全員合格

(5) 学生支援

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				←昨年	←一昨年
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	3.5	3	2	1	3.1 3.2
・学生の相談に対する体制は整備されているか。	4	3.2	3	2	1	3.1 3.1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4	3.2	3	2	1	3.1 3.3
・学生の健康管理を担う体制はある。	4	3.2	3	2	1	3.0 3.4
・学生の生活環境への支援は行われているか。	4		3	2.9	2	1 2.8 2.9
・保護者と適切に連携しているか。	4	3.2	3	2	1	2.9 3.1
・卒業生への支援体制はあるか。	4		3	2.6	2	1 2.5 2.5

① 課題

- ・経済環境の悪い家庭もあり、就学困難な状況になった時の援助をどうするか
- ・保護者との連携は私的要素もあり限界がある
- ・勤務してもすぐやめてしまう人を減らしたい
- ・先生方への負担になっていないか
- ・卒業生への働きかけ、早期離職を防ぐための体制づくり

② 今後の改善方策

- ・会として返還義務のある奨学金はどうか（免除規定を含め会員診療所との連携も考える）
- ・社会人としての自覚を持たせる
- ・地方学生への配慮を検討
- ・職員全体で対応できる体制
- ・学生寮が無くなったので、一人暮らしの生徒への何らかの支援があってもいいのではと思います。
- ・担任は学生・保護者への対応、頑張っていると思います。卒業後の学校訪問が少ないのでは。
- ・実際に卒業生対応を行うには人員が不足
- ・いつでも相談可だが、同窓会や衛生士会との連携も必要

(6) 教育環境

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				←昨年	←←昨年
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	4	3.2	3	2	1	3.2 3.3
・学内外の実習実施施設等について十分な教育体制を整備しているか。	4	3.0		2	1	3.1 3.1
・防災に対する体制は整備されているか。	4	3.4	3	2	1	3.1 3.5

① 課題

- ・実習先により教育内容に違いがあり、そのバランスをどうするか、その施設の特徴をいかに把握するか
- ・オンライン活用を感染症対策で終わらせないこと
- ・コロナ対策
- ・実習（学外）期間中、実習先変更となる事例の発生
- ・現時点では問題は多くないが、少しずつ実習器材が耐用年数に近づいている、コロナ禍で臨地実習の機会が少なくなっている
- ・防災訓練が年に一度
- ・Wi-Fi の設置が必要だと思います（Zoom など）

② 今後の改善方策

- ・実習先診療所との連携強化
- ・連携強化、反省会等での問題提起、マニュアル化
- ・IT 設備やウェブ技術への継続的な投資
- ・空気清浄器
- ・最近ではマイクロを使って歯周治療や補綴物 SET 後のセメント除去等を行う DH も増えてきています。新しい機器を使って相互実習するのも面白いと思います。
- ・防災については、今後、マニュアルの作成
- ・学生個々に対する指導、相談の強化、実習先での指導の在り方、統一された指導カリキュラムの作成、実習カリキュラムの再検討。
- ・指導教官（実習先での）の教育指導法の統一。
- ・IT 化、学生全員がタブレット等を使用できるような体制構築

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1					←昨年	←一昨年
・学生募集活動は適正に行われているか。	4	3.2	3	2	1	2.9	3.4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	3.2	3	2	1	2.8	3.1
・学費等納入金は妥当なものとなっているか。	4	3.4	3	2	1	3.2	3.6

① 課題

- ・With コロナ、少子化が進む中、いかに学生を集めるか
- ・まだアピールが足りない
- ・定員充足が現実的にますます困難になりつつある
- ・経済的に苦しい学生さんへの支援
- ・衛生士に対する認知度の低さ、親の世代だと認知度が極めて低い

② 今後の改善方策

- ・With コロナの中、オンラインも活用
- ・専門学校、小さな単科の学校の良さをアピール
- ・対外的な啓発活動を増やす、オンライン活用、会全体での連携強化、個々の診療所の協力
- ・インターネット等活用して、DHの仕事、学院の存在をもっと知ってもらう
- ・情報発信の強化
- ・足ながおじさん制度
- ・医療系の仕事を探る中で衛生士にたどり着くように周知、情報提供ができないか

③ 特記事項

- ・入学促進体制が整いつつあると思います。うまく機能すれば、学校経営（運営）も良い方向に向かうのでは。
- ・様々な物価上昇もあり、今後、細かな学費の検討も必要か

(8) 財務

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1					←昨年	←一昨年
・中期的に学校の財政基盤は安定しているか。	4	3.2	3	2	1	2.8	2.8
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4	3.3	3	2	1	3.1	3.1
・財務について会計監査が適正に行われているか。	4	3.5	3	2	1	3.5	3.4
・財務情報公開の体制整備はできているか。	4	3.2	3	2	1	3.1	3.4

① 課題

- ・学生数の減が続けば将来的に厳しくなっていく
- ・学生数減少が続けば、長期的に経営困難になる
- ・新入生減少による経営圧迫
- ・入学生を増やすことで経営を安定させたいとは思いますが、今後、大幅増が見込めない中で授業料等の増減で経営を考えるのが適切かどうか

② 今後の改善方策

- ・入学促進事業の詳細検討
- ・まずは学生数増だが、学費検討も必要になるか
- ・新入生の募集
- ・衛生士全体の待遇向上により衛生士の魅力をアップさせることで、より優秀な学生の確保につながる、学校自体の教育環境のためにもお金をかける必要が出てくる

③ 特記事項

- ・学校経営（運営）との連結
- ・学内から、不明とか把握できていないので回答不能、等の意見

(9) 地域社会貢献

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				←昨年	←一昨年	
・臨地実習等を通して生徒・教員による地域社会貢献を行っているか。	4	3.1	3	2	1	2.9	3.3

① 課題

- ・コロナ禍で制限されていた
- ・具体的に何が社会貢献なのかを明確にすべき
- ・コロナ禍で開催されていない学校祭
- ・地域に積極的に活動を展開することが、学生の学習意欲向上や使命感向上につながる、今は、予定されたものが中止になることが多いのが課題

② 今後の改善方策

- ・With コロナのなか、学校祭の再開など。地域貢献に関する教員の意識向上をはかる。
- ・コロナ禍が収束すれば開催

(10) 法令等の遵守

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				←昨年	←一昨年		
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運用がなされているか。	4	3.5	3	2	1	3.5	3.4	
・個人情報に関して、その保護のための対策がとられているか。	4	3.1	3	2	1	2.9	3.3	
・学校自己評価の実施と問題点の改善を図っているか。	4		3	2.9	2	1	2.9	3.1
・学校自己評価結果を公開・活用しているか。	4	3.3	3	2	1	3.3	3.4	

① 課題

- ・自己評価は毎年行われているが、改善されていないものも多くある
- ・校内の職員、コンプライアンスの意識は高く、誇れるような組織となっている

② 今後の改善方策

- ・自己評価については改善途上である
- ・一つ一つの問題点を検討し、協議を始める

③ 特記事項

- ・外部委員会を設置していること